



上海事務所

NCB 海外レポート

中国ビジネス最新事情 ④ ～中国の消費刺激策最前線～

◇ はじめに

- 2020年に習近平国家主席が「双循環」戦略¹を提唱して以来、中国では経済の外需主導型から内需主導型への転換を目指しています。これは、世界経済の不確実性や輸出依存のリスクを低減させるためであり、特に内需に当たる個人消費の拡大は景気の安定成長において重要な鍵とされています。
- 中央・地方政府は各種政策を通じて消費の活性化を図っており、今回は中国における最新の消費刺激策の概要をご紹介します。

◇ 消費刺激策の内容

- 経済の不確実性や消費者心理の慎重さを反映し、2023年以降の消費者物価指数（CPI）の上昇率は0%近辺と低位に推移しています。こうした状況下、中央政府は今年3月、更なる消費の刺激策として「消費刺激行動計画」を発表し、重点的に以下のような民間消費の下支え等を展開しています。

分野	刺激策
耐久消費財の買い替え	自動車や家電の下取り、買い替え補助 電気自動車などの購入支援
住宅関連消費の喚起	住宅ローン金利の引下げ、購入制限の緩和、改修支援を通じた住宅・家具・家電消費の促進
農村および地方の消費拡大	農村部のデジタル化支援や耐久消費財の購入補助を通じ、都市部との消費格差是正を推進
デジタル・スマート消費の促進	スマート家電やウェアラブル機器、ライブコマースの普及促進
サービス消費の拡大	地域限定クーポンの配布を通じた観光・文化・娯楽振興

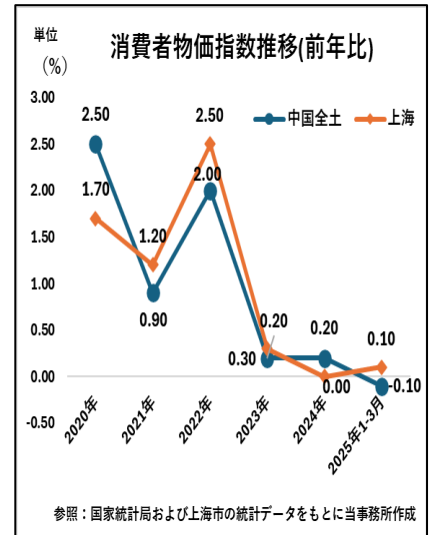
- 中央政府の政策を受け、上海市においても消費刺激策が実施されています。その一つとして、市内の飲食店・宿泊施設などで利用可能なクーポンが抽選で配布されており、直近4月の応募者は490万人に及ぶなど需要の高さがうかがえます。

◇ 課題

- 上記の消費刺激策により、今年4月の小売総額が増加²するなど、一定の経済効果は見られるものの、消費を大きく牽引するまでには至っていません。
- 国民の高い貯蓄率は家計の将来不安を明示しており、若年層の失業率は高止まり(15.8%)しています。加えて、都市部と農村部では依然として所得格差が残っています。今後は社会保障制度の強化、雇用の安定、さらには農村部を含めた地方都市での新たな消費創出策がより一層重要になると考えられます。

◇ まとめ

- 中国の消費刺激策は、内需主導型経済への構造転換を目指すうえで必要な取り組みであり、中央・地方政府は様々な分野での支援策を通じて国民の消費意欲の向上を促しています。
- CPI上昇率を政府目標の2%前後にするためには、短期的な消費刺激策にとどまらず、持続的な内需拡大への具体的な政策が求められており、今後も中央政府の政策動向に注目が集まります。



※飲食クーポン申込画面

金額を選択後に抽選が行われる。
満300円使うと90円引きなど。

予約報名

消費券

90元

満300円可用

立即報名

参加人数：9万強

已报名人数：554136

予約報名

消費券

180元

満500円可用

立即報名

参加人数：4.5万強

已报名人数：481307

予約報名

消費券

400元

満1000円可用

立即報名

参加人数：2.7万強

已报名人数：358197

以上任选 1 張

¹ 内需と外需の経済循環を連携させ、内需を主体として経済の発展を目指す政策方針。

² 2025年4月の小売総額は前年同月比5.1%増の約3.7兆元であった。(参照：国家統計局)